

資料2 平成11年度PRTRパイロット事業における報告のしかた

(様式1)

平成11年度PRTRパイロット事業 事業所調査票1

知 事 市 長	平成 年 月 日
報告者 (代表者) 氏名	印

1. 事業所の概要

(1)名 称	
(2)所 在 地	〒
(3)業 種 名	
(4)事業内容	
(5)製造・取扱品目	
(6)従業者数 (平成10年4月1日現在の常用雇用者数)	人
(7)製造品等出荷額・売上額 (平成10年度)	百万円

2. 担当者 (調査票の記入内容について照会する場合があります。)

(1)所属及び氏名			
(2)連 絡 先	TEL ()	FAX ()	

3. 一体として扱った事業所 (該当する場合のみ記入して下さい。)

事業所名	調査対象事業所	工程の中で分担する分野
	(該当する・しない) (該当する・しない) (該当する・しない) (該当する・しない)	

4. 対象化学物質の取扱いの有無 (該当する項目の記号に○をつけ、右の指示に従って下さい。)

ア	対象化学物質を全く取扱っていない。 また、ダイオキシン類等の非意図的生成化学物質を生成する施設がない。	本調査票(様式1)のみ提出して下さい。
イ	対象化学物質を取扱っているが、取扱量が全て報告対象量未満である。 また、ダイオキシン類等の非意図的生成化学物質を生成する施設がない。	本調査票(様式1)のみ提出して下さい。
ウ	対象化学物質を取扱っており、取扱量が報告対象量以上の物質が1物質以上ある。 または、ダイオキシン類等の非意図的生成化学物質を生成する施設がある。	報告対象の対象化学物質毎に調査票2A(様式2A)及び/または2B(様式2B)を作成し、本調査票(様式1)と併せて提出して下さい。(排出・移動量がゼロの場合にも調査票2A及び/または2Bを作成して下さい。)

(様式2A)

平成11年度PRTRパイロット事業 事業所調査票2A
＜「整理番号175 ダイオキシン類」以外の物質＞

整理番号	CAS No.	主な個別名:			
対象化学物質名					
生産量 (7)	kg/年	使用量 (4)	kg/年	取扱量 (7)+(4)	kg/年

排出・移動量 (排出・移動量がゼロの場合は「0」と記入して下さい。)

項目	排出・移動量	主たる算定方法 (右記選択肢①の記号で記入)
(1) 大気への排出	kg/年	
(2) 公共用水域への排出 (下記a.も記入)	kg/年	
(3) 公共下水道への排出	kg/年	
(4) 土壌への排出	kg/年	
(5) 廃棄物に含まれての 移動 (下記b.も記入)	kg/年	
(6) 自ら行う廃棄物の 埋立処分 (下記c.も記入)	kg/年	
(7) リサイクルのための 廃棄物移動	kg/年	
(8) (1)～(7)の合計	kg/年	

- ①主たる算定方法
ア. 物質収支
イ. 実測値
ウ. 工学計算
エ. 経費値
オ. 文献値
カ. その他(具体的に記入)
- ②廃棄物の種類・形態
ア. 燃え殻
イ. 汚泥
ウ. 廃油
エ. 廃酸
オ. 廃アルカリ
カ. 廃プラスチック類
キ. 金属くず
ク. ガラス及び陶磁器くず
ケ. 紙滓
コ. ばいじん
サ. その他(具体的に記入)
- ③移動先での主な処分方法
ア. 埋立
イ. 焼却
ウ. 海洋投棄
エ. その他(具体的に記入)
オ. 不明

(様式2B)

平成11年度PRTRパイロット事業 事業所調査票2B
＜整理番号175 ダイオキシン類＞

整理番号	175	対象化学物質名	ダイオキシン類
------	-----	---------	---------

排出・移動量 (排出・移動量がゼロの場合は「0」と記入して下さい。)

*ダイオキシン類の排出・移動量の報告単位は、 mg-TEQ/年 と記入して下さい。
なお、単位換算は以下の通りです。

$$1 \text{ g} = 1,000 \text{ mg}, 1 \mu\text{g} = 0.001 \text{ mg}, 1 \text{ ng} = 10^{-6} \text{ mg}, 1 \text{ pg} = 10^{-9} \text{ mg}$$

項目	排出・移動量	主たる算定方法 (右記選択肢①の記号で記入)
(1) 大気への排出	mg-TEQ/年	
(2) 公共用水域への排出 (下記a.も記入)	mg-TEQ/年	
(3) 公共下水道への排出	mg-TEQ/年	
(4) 土壌への排出	mg-TEQ/年	
(5) 廃棄物に含まれての 移動 (下記b.も記入)	mg-TEQ/年	
(6) 自ら行う廃棄物の 埋立処分 (下記c.も記入)	mg-TEQ/年	
(7) (1)～(6)の合計	mg-TEQ/年	

- ①主たる算定方法
ア. 実測値
イ. ガイオキシン類合計濃度による推計
ウ. CO濃度と滞留時間による推計
エ. クロムベンゼン類による推計
オ. NVOXによる推計
カ. その他(具体的に記入)
- ②廃棄物の種類・形態
ア. 燃え殻
イ. 汚泥
ウ. 廃油
エ. ばいじん
オ. その他(具体的に記入)
- ③移動先での主な処分方法
ア. 埋立
イ. 焼却
ウ. 海洋投棄
エ. その他(具体的に記入)
オ. 不明

a. 排出先の河川、湖沼、海域名 (公共用水域への排出がある場合に記入) :

移動先の地域名:	都道府県	市区町村
廃棄物としての移動 (移動がある場合に記入)	廃棄物の種類・形態 (上記選択肢②の記号で記入)	
移動先での主な処分方法 (上記選択肢③の記号で記入)		
埋立処分の場合の埋立地の区分 (該当する区分に○)	7. 安定型	イ. 管理型 ウ. 遮断型

a. 排出先の河川、湖沼、海域名 (公共用水域への排出がある場合に記入) :

移動先の地域名:	都道府県	市区町村
廃棄物としての移動 (移動がある場合に記入)	廃棄物の種類・形態 (上記選択肢②の記号で記入)	
移動先での主な処分方法 (上記選択肢③の記号で記入)		
埋立処分の場合の埋立地の区分 (該当する区分に○)	7. 安定型	イ. 管理型 ウ. 遮断型

平成11年度

PRTRパイロット事業 における報告のしかた

PRTRパイロット事業に係る配布物一覧

本パイロット事業で事業者の皆様へ配布した資料等は以下のものです。
足りないもの等がありましたら、至急、都道府県の担当者までご連絡下さい。

・調査依頼文書

【様式類】

- ・報告様式1、2A及び2B 白色
（以下、「様式1」、「様式2A」、「様式2B」又は、2Aと2Bを併せて「様式2」という）
- ・作業シート1～4 黄色
- ・PRTRパイロット事業のための成分組成質問票 黄色
- ・調査機関（都道府県）への質問票 黄色

【説明資料】

- ・PRTRパイロット事業における報告のしかた ピンク色
（以下、「記入要領」という）
- ・作業シートを用いた様式2の記入方法 黄色
- ・参考資料（表1～4） 緑色
- ・PRTRパイロット事業排出量推計マニュアル
（以下、「推計マニュアル」という） 冊子

【その他】

- ・アンケート用紙 白色
- ・返信用封筒
- ・昨年度のPRTRパイロット事業における「貴事業所の報告内容」（昨年度のパイロット事業
で報告した事業所のみ）

PRTRパイロット事業に係る提出物一覧

本パイロット事業で事業者の皆様へ提出いただく資料等は以下のものです。
提出期限、提出先等については、「調査依頼文書」でご確認下さい。
なお、作業シート（1～4）の提出は不要です。

【全事業所】

- ・「様式1」
- ・アンケート用紙

【報告対象化学物質を取扱っている事業所】

- ・「様式2A」（ダイオキシン類以外の対象化学物質について物質毎に作成してまとめて
下さい。）
- ・「様式2B」（ダイオキシン類の排出・移動がある場合のみ提出して下さい。）

《注意事項》

2つ以上の事業所が一体不可分なものとして環境面の管理がなされている場合、以下の
説明に従って、主たる事業者が提出先に報告資料を提出してください。

- ・主たる事業所：「様式1」は、主たる事業所の分に従たる事業所からの提出分を併せ
て綴じたものを提出して下さい。
また、「様式2」は、主たる事業所からの情報をもとに、各対象化学
物質毎に主たる事業所の分と従たる事業所の分を合算したものを作成
して提出して下さい。

- ・従たる事業所：「様式1」を作成して、主たる事業所に提出して下さい。
また、「様式2」で報告する内容に関する情報（排出・移動量に関す
るデータ等）を主たる事業所に提出して下さい。

PRTRパイロット事業の報告様式への記入要領
【様式1の記入要領】

(様式1) 平成11年度PRTRパイロット事業 事業所調査票1

知事 市長	平成 年 月 日
報告者(代表者) 氏名	印

1. 事業所の概要

(1) 名称	②
(2) 所在地	〒③
(3) 業種名	④
(4) 事業内容	⑤
(5) 製造・取扱品目	⑥
(5) 従業員数(平成10年4月1日現在の常用雇用者数)	⑦ 人
(6) 製造品等出荷額・売上額(平成10年度)	⑧ 百万円

2. 担当者(調査票の記入内容について照会する場合があります)

(1) 所属及び氏名	⑨
(2) 連絡先	TEL ⑩ () () FAX ⑪ () ()

3. 一体として扱った事業所(該当する場合のみ記入して下さい)

事業所名	調査対象事業所	工程の中で分担する分野
⑫	(該当する・しない)⑬ (該当する・しない) (該当する・しない)	⑭

4. 対象化学物質の取扱いの有無(該当する記号に○を付け、右の指示に従ってください。)

ア	対象化学物質を全く取扱っていない。また、ダイオキシン類等の非意図的生成化学物質を生成する施設がない。	本調査票(様式1)のみ提出して下さい。
イ	対象化学物質を取扱っているが、取扱い量が報告対象数量未満である。また、ダイオキシン類等の非意図的生成化学物質を生成する施設がない。	本調査票(様式1)のみ提出して下さい。
ウ	対象化学物質を取扱っており、取扱い量が報告対象数量以上の物質が1物質以上ある。または、ダイオキシン類等の非意図的生成化学物質を生成する施設がある。	報告対象の対象化学物質毎に調査票2A(様式2A)及び/または2B(様式2B)を作成し、本調査票(様式1)と併せて提出して下さい(排出・移動量がゼロの場合にも調査票2A及び/または2Bを作成して下さい)。

- ①: 報告者(代表者) 事業所の管理責任者(事業所の長等)の氏名を記入の上、捺印して下さい。
- ②: 事業所の名称及び ③: 事業所の所在地 それぞれに事業所の名称及び所在地を記入して下さい。
- ④: 業種名 「推計マニュアル」の1.3 報告の対象となる事業所等(6ページ)の対象業種名称に従って記入して下さい。複数の業種にまたがっている場合は、製造品等出荷額・売上額が最も多い業務に関する業種名称を記入して下さい。なお、昨年度のパイロット事業で報告した事業所は、同封の「費事業所の報告内容」に記載されている業種と異なる場合のみ記入して下さい。
- ⑤: 事業内容 貴事業所の主な事業内容を記入して下さい。
- ⑥: 製造・取扱品目 主要な製造品目の種類や主要な取扱品目の種類とその取扱内容を記入して下さい。なお、廃棄物処理業の場合は許可内容、倉庫業の場合は主たる保管物を記入して下さい。
- ⑦: 従業員数 平成10年4月1日現在の雇用者のうち、費事業所で常時雇用されている者(臨時雇用者や出向してきた者などを除く)の人数を記入して下さい。
- ⑧: 製造品等出荷額・売上額(平成10年度) 平成10年度における製造品等の出荷額(百万円)又は売上額(百万円)を記入して下さい。なお、研究所等、事業所としての出荷や売上がない場合には、「0」と記入して下さい。
- ⑨: 担当者の所属及び氏名 本報告の担当者の所属及び氏名を記入して下さい。
- ⑩: 担当者の連絡先 上記⑨で記入した担当者の連絡先として、電話番号及びFAX番号を記入して下さい。
- ⑪: 事業者名、⑫: 調査対象事業所及び⑬: 工程の中で分担する分野 2つ以上の事業所が同一敷地内に存在するなど一体不可分のものとして環境面の管理がなされている、主たる事業所が従たる事業所を含めてまとめて報告する場合は、以下の事項を記入して下さい。従たる事業所の名称及びその工程分担分野を記入して下さい。従たる事業所が本事業の調査対象事業所である場合は、⑫の「該当する」に○を付け、ト事業の調査依頼には「しない」に○を付けて下さい。 そうでない場合は「しない」に○を付けて下さい。
- ・ 従たる事業所: ⑭に「(主たる事業所名)が代表して報告」と記入して下さい。
- ⑭: 対象化学物質の取扱いの有無 対象化学物質の取扱いの有無や非意図的生成物質を生成する施設の有無を確認し、費事業所が該当する記号(ア、イ、ウ)に○を付け、それぞれ右欄に指示に従って、必要書類を提出して下さい。

【様式2 (2A及び2B) の記入要領】

様式2 (2A及び2B) の記入に当たっては、別添の「作業シートを用いた様式2の記入方法」も参照して下さい。なお、別の方法を利用しても差し支えありません。

「様式2A」は、ダイオキシン類以外の報告対象化学物質について、物質毎に1枚ずつ作成して下さい。
 なお、ダイオキシン類については、「様式2B」を用いて作成して下さい。

(様式2A)

平成11年度PRTRパライロット事業 事業所調査票2A

<整理番号175 ダイオキシン類以外の物質>

整理番号 ①	CAS No. ②	主な個別名:			
対象化学物質名 ③					
生産量 (7)	kg/年	使用量 (4)	kg/年	取扱量 (7)+(4) ⑥	kg/年

排出・移動量 (排出・移動量がゼロの場合は「0」と記入して下さい。)

項目	排出・移動量	主たる算定方法 (右記選択肢①の記号で記入)
(1) 大気への排出	⑦ kg/年	⑮
(2) 公共用水域への排出 (下記a, も記入)	⑧ kg/年	⑮
(3) 公共下水道への排出	⑨ kg/年	⑮
(4) 土壌への排出	⑩ kg/年	⑮
(5) 廃棄物に含まれた移動 (下記c, も記入)	⑪ kg/年	⑮
(6) 自ら行う廃棄物の廃立処分 (下記c, も記入)	⑫ kg/年	⑮
(7) リサイクルのための廃棄物移動	⑬ kg/年	⑮
(8) (1)~(7)の合計	⑭ kg/年	⑮

- ①主たる算定方法
 ア. 物質収支
 イ. 実測値
 ウ. 工学計算
 エ. 経験値
 オ. その他 (具体的に記入)
- ②廃棄物の種類・形態
 ア. 燃え殻
 イ. 汚泥
 ウ. 廃油
 エ. 廃酸
 オ. アルカリ
 カ. プラスチック類
 キ. 金属くず
 ク. スチール
 ケ. 繊維
 コ. ばいじん
 サ. その他 (具体的に記入)
- ③移動先での主な処分方法
 ア. 焼却
 イ. 埋立
 ウ. 海洋投棄
 エ. その他 (具体的に記入)
 オ. 不明

a. 排出先の河川、湖沼、海域名 (公共用水域への排出がある場合に記入) : ⑯	都 道 市 区
b. 廃棄物としての移動がある場合 (移動がある場合に記入)	都 道 市 区 町 村
移動先の地域名: ⑰	
廃棄物の種類・形態 (上記選択肢②の記号で記入)	⑱
移動先での主な処分方法 (上記選択肢③の記号で記入)	⑲
c. 埋立処分の場合の埋立地の区分 (該当する区分に○)	㉑ 7. 安定型 ㉒. 管理型 ㉓. 遮断型

(1) ①: 整理番号 ②: CAS No. ③: 対象化学物質名
 ・報告対象化学物質 (ダイオキシン類以外の非意図的生成物を含む) について、「参考資料表-2」又は「推計マニキュアル」別表3-1 (134~139A-ツ)に基づき、①に整理番号、②にCAS No.、③名称を記入して下さい。

<注> 「亜鉛化合物」等対象化学物質の名称が物質群の名称となっている場合は、⑤に物質群の名称を記入して下さい。さらに、その物質群に含まれる個別の化学物質名がわかるものについては、併せて主な個別の化学物質名を「主な個別名:」の後に記入して下さい。
 (例) 「亜鉛化合物 主な個別名: クロム酸亜鉛」

(2) ④: 生産量 ⑤: 使用量 ⑥: 取扱量
 ・平成10年度における対象化学物質の生産量、使用量、及びこれらを合計した取扱量 (対象化学物質100%換算値) をそれぞれ④~⑥に記入して下さい。
 ・「生産量」には、平成10年度に事業所内で製造した量 (副生成物の生成を含む) を記入して下さい。

<注> 「使用量」は、平成10年度に外部から事業所に受入れた量から、平成10年度末と9年度末の在庫量の差を差し引いた量を記入して下さい。
 ・「シニートロロ」等対象化学物質の名称が物質群の名称となっている場合は、その物質群に含まれる化学物質の合計量を記入して下さい。
 ・「シアニン」又は「シアニ化合物」の両方の物質群に含めて下さい。
 ・また、有機スズ化合物を除く「金属化合物」、「ホウ素及びホウ素化合物」、「フッ素化合物」、「フッ素化合物」については、金属 (又はホウ素、シアニ、フッ素) 換算した合計量を記入して下さい。

(3) ⑦~⑭: 年間排出・移動量
 ・⑦~⑭に各媒体等毎の排出、移動の年間量 (対象化学物質100%換算値)、⑭に⑦~⑭の合計を記入して下さい。

<注> 排出・移動量が「ゼロ」である項目には、全て「0」と記入して下さい。
 ・排出や移動があるかどうか分からない項目については、「不明」と記入して下さい。
 ・報告単位は、全て「kg/年」とし、原則として有効数字は3桁まで記入して下さい。
 ・その他、報告する量に関して、上記(2)の<注>を参照して下さい。

(4) ⑮: 主たる算定方法
 ・報告の対象となる各排出、移動の年間量を算定した際の主たる算定方法について、「様式2A」の記入欄の右に記載してある選択肢①より該当する記号を選んで記入して下さい。なお、選択肢①の解説は以下の通りです。これらの選択肢に該当するものがない場合には、「加. その他」を選択し、記入欄に具体的な算定方法を簡潔に記入して下さい。
 <選択肢①の解説>

- ア. 「物質収支」: 取扱あるいは処理工程において、その前後の化学物質の収支から排出・移動量を算定した場合
 イ. 「実測値」: 実測した量、濃度、含有率等を用いて排出・移動量を算定した場合や含有率を工学計算で求め、排出・移動量を算定した場合
 ウ. 「工学計算」: 化学物質の濃度、蒸気圧や水への溶解度、取扱い方法等をもとに濃度や含有率を工学計算で求め、排出・移動量を算定した場合
 エ. 「経験値」: 取扱あるいは処理工程において経験的に排出・移動量を算定した場合
 オ. 「文献値」: 「推計マニキュアル」や関連した文献における値や、類似施設での文献値から排出・移動量を算定した場合

- (5) ⑯～⑲：主たる排出・移動先
- ・⑯：河川、湖沼、海域名には、「○○川」等、具体的名称を記入して下さい。
 - ・⑰：廃棄物の主たる移動先には、廃棄物処理を委託した外部業者が、中継場所等での一時的な保管ではなく、焼却や埋立等を実際に行った都道府県市町村名を記入して下さい。
 - ・⑱：廃棄物の種類・形態 ⑳：移動先での主な処分方法には、「様式2A」の記入欄の右に記載してある選択肢②、③より該当する記号を選んで記入して下さい。なお、選択肢に該当するものがない場合には、「その他」を選択し、記入欄に具体的な内容を簡潔に記入して下さい。
- (6) ㉑：埋立処分の場合の埋立地の区分
- ・自ら行う廃棄物の埋立処分がある場合、該当する埋立処分の区分を「7.安定型」「4.管理型」「9.遮蔽型」から選び、○で囲んで下さい。

平成 1 1 年度 P R T R / パイロット事業 事業所調査票 2 B
 < 整理番号 175 ダイオキシン類 >

整理番号	175	対象化学物質名	ダイオキシン類
------	-----	---------	---------

排出・移動量 (排出・移動量がゼロの場合は「0」と記入して下さい。)

* ダイオキシン類の排出・移動量の報告単位は、「mg-TEQ/年」となっていますので注意して下さい。
 なお、単位換算は以下の通りです。

$$1 \text{ g} = 1,000 \text{ mg}, 1 \mu\text{g} = 0.001 \text{ mg}, 1 \text{ ng} = 10^{-6} \text{ mg}, 1 \text{ pg} = 10^{-9} \text{ mg}$$

項目	排出・移動量	主たる算定方法 (右記選択肢①の記号で記入)
(1) 大気への排出	① mg-TEQ/年	⑧
(2) 公共用水域への排出 (下記a.も記入)	② mg-TEQ/年	⑧
(3) 公共下水道への排出	③ mg-TEQ/年	⑧
(4) 土壌への排出	④ mg-TEQ/年	⑧
(5) 廃棄物に含まれたの 移動 (下記b.も記入)	⑤ mg-TEQ/年	⑧
(6) 自ら行う廃棄物の 埋立処分 (下記c.も記入)	⑥ mg-TEQ/年	⑧
(8) (1)~(6)の合計	⑦ mg-TEQ/年	

- ① 主たる算定方法
 ア. 実測値
 イ. 付付材料の類合計濃度による推計
 ウ. CO濃度と滞留時間による推計
 エ. 加パバペノ類による推計
 オ. NVOXによる推計
 カ. その他(具体的に記入)
- ② 廃棄物の種類・形態
 ア. 燃え殻
 イ. 汚泥
 ウ. 廃油
 エ. ばいじん
 オ. その他(具体的に記入)
- ③ 移動先での主な処分方法
 ア. 埋立
 イ. 焼却
 ウ. 海洋投棄
 エ. その他(具体的に記入)
 オ. 不明

a. 排出先の河川、湖沼、海域名 (公共用水域への排出がある場合に記入) : ⑨	都道 府県	市区 町村
b. 廃棄物としての移動 (移動がある場合に記入)	移動先の地域名 : ⑩	
	廃棄物の種類・形態 (上記選択肢②の記号で記入)	⑪
	移動先での主な処分方法 (上記選択肢③の記号で記入)	⑫
c. 埋立処分の場合の埋立地の区分 (該当する区分に○)	⑬	⑭ 7. 安定型 ⑮ 管理型 ⑯ 遮断型

- (1) ①~⑦ : 年間排出・移動量の合計を記入して下さい。
 ①~⑥ : 各媒体等毎の排出・移動量の合計を記入して下さい。
 <注> 排出・移動量が「ゼロ」である項目には、全て「0」と記入して下さい。
 ・排出や移動があるかどうかかわからない項目については、全て「不明」と記入して下さい。
 ・報告単位は、全て「mg-TEQ/年」とし、原則として有効数字は3桁まで記入して下さい。

- (2) ⑧ : 主たる算定方法報告の対象となる各排出・移動の年間量を算定した際の主たる算定方法について、「様式2B」の記入欄の右に記載してある選択肢①より該当する記号を選んで記入して下さい。なお、選択肢①の解説及び参照箇所は以下の通りです。これらの選択肢に該当するものがない場合には、「カ. その他」を選択し、記入欄に具体的な算定方法を簡潔に記入して下さい。

<選択肢①の解説及び参照箇所>

ア. 「実測値」 : 実測した量、濃度、含有率等を用いて排出・移動量を算定した場合
 イ. 「付付材料の類合計濃度による推計」 : 「推計マニユアル」解説4-1-1(b)(54ページ)参照
 ウ. 「CO濃度滞留時間による推計」 : 「推計マニユアル」解説4-1-1(c)(56ページ)参照
 エ. 「加パバペノ類による推計」 : 「推計マニユアル」解説4-1-1(d)(56ページ)参照
 オ. 「NVOXによる推計」 : 「推計マニユアル」解説4-1-1(d)(56ページ)参照

- (3) ⑨~⑭ : 主たる排出・移動先
 ・⑨ : 河川、湖沼、海域名には、「○○川」等、具体的な名称を記入して下さい。
 ・⑩ : 廃棄物の主たる移動先には、廃棄物処理を委託した外部業者が、中継場所などでの一時的な保管ではなく、焼却や埋立などを実際に行った都道府県市区町村名を記入して下さい。
 ・⑪ : 廃棄物の種類・形態 : 移動先での主な処分方法には、「様式2B」の記入欄の下に記載してある選択肢②、③より該当する記号を選んで記入して下さい。なお、選択肢に該当するものがない場合には、「その他」を選択し、記入欄に具体的な内容を簡潔に記入して下さい。

- (4) ⑬ : 埋立処分の場合の埋立地の区分
 ・自ら行う廃棄物の埋立処分がある場合、該当する埋立地の区分を「7. 安定型」「1. 管理型」「9. 遮断型」から選び、○で囲んで下さい。